



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 定価 一年送料共 1000円

神具、装束 結納式用品 福岡店 福岡市博多区東公園二丁目一三二(一三二)番 電話福岡三六五二一四九(四五)番

節分祭 齋行



去る二月三日午前十時より、当大社祈願殿に於て恒例の節分祭が厳粛かつ盛大に齋行された。

当日は、伊豆善也、小山達生両議会議員、和田延広、安村隆司宗像警察署々長をはじめとする宗像市知名士、並びに玄海町立玄海幼稚園々児八十余名と父母の会、氏子関係者、篤信者、一般参列者等多数参列の下、本年一年の災難消除・延命招福を祈念した。

司下神職・参列者が雅楽の調が流れる殿内を参進し、修祓の後、宮司により朗々厳肅な祝詞が奉奏された。続く玉串拝礼は、宮司、氏子会長以下各代表、幼稚園代表の順に進められた。この儀式により、参列者は祈願殿庭内に移動を行い、「鳴弦の儀」「豆打式」にそなえた。

「鳴弦の儀」は神職一名がそれに、弓・矢を執り祈願殿正面所定の位置に進み、一名は東北の天空に

向け、一名は南西の地上に向けて、華矢・桃矢を三度射る、古式に則った形式で行われた。この儀式により、宗像大神の御神威を以て天空地上の邪気が払い清められたわけである。

御札 節分祭齋行に際しましては、崇敬者の皆様方より誠心からなる御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

御札 節分祭齋行に際しましては、崇敬者の皆様方より誠心からなる御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

御札 節分祭齋行に際しましては、崇敬者の皆様方より誠心からなる御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

「祝う会」とは別に独自式典

建国記念の日奉祝会(櫻井勝之進会長)と同運営委員会(齋藤部委員長)では旧暦、今年二月十一日の奉祝行事について「国民の祝日奉祝会(五島昇会長)とは別に独自の式典を挙行することを決めた。

これは、五十九年末に発足した「建国記念の日奉祝会」が、二十一年奉祝会を祝う会と名称・性格を変えて財団法人化。それとともに、建国記念日奉祝の本義である「神武建国の意義の昂揚」をむしろ回避する傾向を見せはじめるとともに、奉祝式典の政府主催は求めないと言明するようになった。

奉祝会はこれまで三年間、「祝う会」主催の式典に参加してきたわけだが、五十九年末、自民党の国民運動本部中山正輝本部長が中曽根首相の意を受けて「祝う会」の発足を準備し、奉祝会にも参加を求めた。このことは、まだまだ記憶に新しい。

あとの中山国民運動本部長は、二月十一日の奉祝式典への総理出席のための環境づくりと称して、宗教色・政治色の排除の主旨によつて「神武建国を徳とすること」「聖王崇徳の唱和」の二点を式典の内容から除外したいと言つて「祝う会」の趣旨を説明した。しかしその二点を建国記念日奉祝の眼目だと考え、奉祝会側としては当然、その二点を除外してこゝに日本国の建国を記念奉祝する意味があるかと憤慨

し、神社本庁などは一時は、そのよくな会には参加しない、とまで強く反対した。結局、問題の二点は①神武建国の中立意識だけを露骨にするの真意唱和については、天皇陛下の御長寿を祈る「こと」と「日本国」の語を前段に併列し、実質的に聖王崇徳をおこなつたことで妥協意識、式典への政府主催化や建国記念日の意義を弱めることとなった。

は漸次進めて行くことを政府自民党側が約束したので、奉祝会も将来の発展を期待して「祝う会」の式典に参加することとなった。この協力参加が僅か三回で破綻したのは冒頭に述べた事情によるもので、それが「建国記念日奉祝の本義を曖昧にされることを、奉祝会および運営委員会が憂へたためであることは勿論である。

あたかも今年には戊辰の年、明治維新から千支一めぐりの満百二十年の年である。この年に、奉祝会が初心にかゝつて建国記念日奉祝の活動に再出発する。この意義はもちろんなさくない。神武創業の古にかなへる、その御沙汰に於て明治維新の幕を開き、その維新の大理想を表現するものとして紀元節を制定遊ばされた明治天皇の聖旨を深く胸にたしかめて、今年の建国記念日を、神武天皇肇國の御事蹟を追慕するに、明皇治二の一新の大業へも思いを馳せる国民奉祝の式典が賑々しく執りおこなわれることを、切に願つてやまない。(神社新報より)

願の参拝者多数参集の中 神職と袴姿の年男等が福豆の入った一升桶を手に一鬼の外へ「福は内」と唱へ福豆撒きを行った。福豆袋を始末した。福豆袋の入り口は緑色の紅白餅の入り口。協賛者からの菓子袋等準備された約千分の福袋は余すことなく参列者に授けられた。

「豆打式」終了後、齋館に於て直会が催され、正午過ぎには和やかな内に散会した。

一方同時刻、中津宮でも大島村の人々が集う中、節分祭が齋行され、楽しい一

刻を過ぎた。立春を目前にした当日ではあったが、まだまだ風も冷たか、寒さもまだたつたものの、日差しには和やかな暖かさを感じた。

この「節分祭」を境に、徐々にはあるが、この宗像の地にも、季節は春へと移行ゆく。北風に凍えていた樹木も、その枝先に緑を芽吹かす。春への支度をすすめていく。

余滴

福岡市の平和台球場は、年明けとともに、時ならぬ考古学アームにわかかえつて、外野スタンドが改修工事が発端となつて、幻の工事から駒ならぬ、幻の鴻臚館といつてもよい。大きな宝物を運び出したのである。鴻臚館は外国交流の窓口となつた古代の迎賓館で、文献によれば難波、平安京、筑紫の三ヶ所に設けられたとあるが、今日までその所在を確認することが出来なかつた。難波、平安京は何れも破壊的で、筑紫だけが幸つてその場所が推定されてはいたが、福岡城の築城、旧陸軍の兵舎、さらには戦後の平和台球場の建設により破壊し尽された。この定説を覆す遺構の発見は新巻を飾るビッグニュースとして大きな反響を呼び、関係者の喜びも一入である。

先祖伝統の歴史と文化に対する誇りと感激をもたせるような奉祝の国民式典が展開されるよう、努力がつかみかたられねばなるまい。それが奉祝会活動の再出発に対するわれわれの願いである。

あたかも今年には戊辰の年、明治維新から千支一めぐりの満百二十年の年である。この年に、奉祝会が初心にかゝつて建国記念日奉祝の活動に再出発する。この意義はもちろんなさくない。神武創業の古にかなへる、その御沙汰に於て明治維新の幕を開き、その維新の大理想を表現するものとして紀元節を制定遊ばされた明治天皇の聖旨を深く胸にたしかめて、今年の建国記念日を、神武天皇肇國の御事蹟を追慕するに、明皇治二の一新の大業へも思いを馳せる国民奉祝の式典が賑々しく執りおこなわれることを、切に願つてやまない。(神社新報より)

福岡市の平和台球場は、年明けとともに、時ならぬ考古学アームにわかかえつて、外野スタンドが改修工事が発端となつて、幻の工事から駒ならぬ、幻の鴻臚館といつてもよい。大きな宝物を運び出したのである。鴻臚館は外国交流の窓口となつた古代の迎賓館で、文献によれば難波、平安京、筑紫の三ヶ所に設けられたとあるが、今日までその所在を確認することが出来なかつた。難波、平安京は何れも破壊的で、筑紫だけが幸つてその場所が推定されてはいたが、福岡城の築城、旧陸軍の兵舎、さらには戦後の平和台球場の建設により破壊し尽された。この定説を覆す遺構の発見は新巻を飾るビッグニュースとして大きな反響を呼び、関係者の喜びも一入である。

武丸 立石右せ乃 小倉北 松本 政子 八幡東 永田久美子 秋月さす浜は静けき旗日に 老いし漁夫の操縦脱落し 自由ヶ丘 後藤 君代 自由ヶ丘 後藤 君代 自由ヶ丘 後藤 君代

池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ

無表情の顔連ゆく満員電車 車載りし舌の心冷えゆく (評) 満員電車の中の雰囲気とその時の作者の微妙な心理が照応して佳品。一、二句の把握も秀れている。

池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ

池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ

池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ

池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ 池田 小田 一七 吉留 白木うめ

守れ!! 国の宝 郷土の文化財

一月二十三日午前十一時、境内の火災報知器ベルがけられたまじく響いた。
当社自衛消防団々長(宇都宮権吉司)の指令が飛ぶ。



本殿授子所巫女が発見し、非常ベルを押し、報知ベルが鳴る。団長の指示が下る。受けより消防本部に一九番される。第一分団が出動。以上のような行動を全体活動として訓練を行った。第一分団の消防車着までの五分間、自衛消防団の初期活動も合格点をいいたく訓練ぶりであった。

今年で三十四回を迎えるこの防火デーは、今を去る三十八年前の、昭和二十四年一月二十六日、奈良法隆寺障壁画修復中火出による国宝焼失を教訓として、昭和三十年、文化庁、消防庁の要請により一月二十六日が「文化財防火デー」として制定され、全国各地で訓練が行われている。

本殿授子所巫女が発見し、非常ベルを押し、報知ベルが鳴る。団長の指示が下る。受けより消防本部に一九番される。第一分団が出動。以上のような行動を全体活動として訓練を行った。第一分団の消防車着までの五分間、自衛消防団の初期活動も合格点をいいたく訓練ぶりであった。

八幡宗像会新年総会開催

―新会長に深田健三氏―

去る一月三十一日(日)、八幡宗像会の新年総会が、北九州市勤労者会館に於て開催され、本年も総会の席にお招きいただき、当大社より養父宮司と職員一名が出席した。

同会は、歴史と伝統を誇る宗像市郡出身者で、八幡東区・西区に在り、若しくは勤務する有志の方々で組織されており、現在は会員数七十名程の当大社崇敬団である。同会では新年総会を始め、毎年宗像大社秋季大祭に家族で参拝する等、年間行事を通じて会員相互の親睦を図っている。

本年の総会には約四十名の会員が出席され、今崎幹事の司会により式次が進行された。開会の辞に続き、

先づ今崎幹事より、永年会長を務められた安永義昭氏の名譽会長の就任と、宗像市福元の出身で、日鐵電工事務相談役深田健三氏の会長就任の、同会々長交代の報告がなされた。

この報告に続いて、新田会長が挨拶され、安永名誉会長より、勤務の都合により、東京に在住を移したと等々、会長職を退かれることになったいきさつと、「日本で最も由緒ある神社の一つである宗像大社が鎮座する。我が郷土宗像を誇りとし、いつまでも郷土を愛し続けたい」と、又、深田新会長より「伝統ある八幡宗像会の会長は大任であるが、当会発展の為尽力致します」と、それぞれお礼と抱負の言葉が述べられた。

続いて、今年古栢を迎えられた伊豆丸(シエン)に、長寿を祝して記念品が会長より贈呈された。次いで、昭和六十二年の会務・会計・監査報告がなされた。議事が終了した後、来賓挨拶となり、当大社養父宮司が、宗像大社の現状報告を兼ねて挨拶を行った。特に九州各県や中国地方から団体に、バスを運んで多くの方々が参拝される等々、年々参拝者が増え、益々宗像大社の御神威が发扬されている」と報告し、参集された会員の方々も大変喜ばれていた。

この後、懇親会に移り、会員の方々の動静や郷土宗像の話に花が咲き、和気藹々の中、宴が続けられた。

◇新役員名簿◇
名誉会長 岡崎 春雄
新会長 岡崎 義昭

福岡トヨペット(株) 願い絵馬一〇〇〇体奉納

昨年十一月に備前トヨペットが開設した、店頭トヨペットに於ける来場者の、願いを込めた絵馬が、一月八日、当大社へ奉納され、奉納奉告祭が斎行された。

車輦の販売だけでなく、交通安全の啓蒙にも、積極的に取り組んでいる同社では、十一月七日、十四、十五日の二回開催したイベントの主眼として、ドライブパークへ安全運転を呼び掛けることを目的に、当大社へより焼印を押した絵馬一〇〇〇体を受け、イベント会場にて来場者に配布、交通安全を始め各々の願意を記入して奉納し、今回の奉納並びに奉告祭の運びとなった。

当日午前十時、同社社長野村恵之氏・社長久保田圭三氏以下幹部社員八名が参拝、一、〇〇〇枚の絵馬を

神前にお供えし、諸願成就・交通安全と、併せて同社の繁栄を祈念して祭典が斎行された。

祭典終了後、神門前に整列した、今回発表された新型コロナウイルス四台の車輦を執り行った。お祝いを受けた後、初めて公開される四車輦のコロナが、参拝者に披露されるべく、神門前正面参道両側に陳列され、終日展示された。

又、奉納された絵馬は、

展示用パネルに掲示され、祈願殿待ち合いロビーに於て、一月三十一日迄展示された。

各々交代で奉告祭を務めることになっており、本年は福岡町の当番にあたり神輿校区の、的場藤彦議員が奉仕され、宮司祝詞奉奏に続いて、御神前に神恩感謝の奉告祭が朗々と奉奏され、氏子会々々々を始め、参列者が玉串を献奉り敬虔な祈りを捧げた。

引き続き、氏子会々々々が運動着表裏が執り行われ、宮司より永年の誠心からの御奉仕に対し、津屋崎町勝浦の花田大太郎氏に、感謝状並びに記念品が贈呈され、無事祭典を終了した。

会場が清明殿直会会場に於いて鏡開きが、氏子総代多数参加のもと、盛大に執り行われた。

この行事のいわれは、鏡餅は新年を迎えるにあたり各家庭で神前にお供えする九い大きな餅である。「鏡」は昔は金属で出来た円盤で、神が依る物と敬われこの型を形とする餅を、祝いの餅とし、それに結びつけて呼ぶようになったのである」と伝えられている。

この餅を食べることを餅を祝うといふのは、鏡餅を神聖視し尊んで来たことを意味している。

当日は「雑煮」や「汁粉」が用意され、参列者や神社職員一同舌つみを打ちながら、いただいた。

尚都市内氏子の方々より御奉納された餅は、今年一年間、当大社御神前にお供え申し上げ、氏子の皆様方の安全と繁栄をお祈り申し上げております。

中津宮末社 厳島神社・蛭子神社改築成る

日、里人等が参集し竣工祭が斎行された。

中津宮末社として、里人、特に漁業者の信仰が篤い社であるが、流れ造の本殿は白蟻が入り、又風雨による痛みが酷く改築が急がれていた中、宮崎区で巻網漁業を営む宮地丸組代表宮本登志氏氏が改築を申し出て、寄進された。

昨年十一月下旬、本殿解体の遺蹟の後御神体を中津宮に奉安改修工事掛かった。施の国松石材株式会社社長の石工達は、急がれた社を、海を渡るべく、参道階段の機械が使用せず、風雨の中口口を使つての全

十二月三日、恒例の蛭子祭の吉日を選び竣工祭を斎行した。午前十時半、沖中宮宮奉賛会長、宮崎区長、区民等参集し、祝詞の後参列した養父宮司に続き各代表者が玉串を捧げた。続いて、蛭子祭を斎行、海上安全、大漁満足を祈り、竣工祭を祝って紅白餅が勢いよく撒かれた。

祭典終了後、直会を青年会場で行った。宮司並びに各代表者が祝辞を述べた後直会となり、里々御神酒を交し、海の幸を戴き、日の竣工祭を祝った。

この度の改築に際しまして、宮地丸組の方々には誠心からのご御協力を戴きありがとうございました。皆様方の御協力を戴き、御神前に御奉納された餅は、今年一年間、当大社御神前にお供え申し上げ、氏子の皆様方の安全と繁栄をお祈り申し上げております。

この年の大開帳地始まる。本能寺の変、信長法師の長。小牧・長久手の戦。

三十六歌仙扁額(九) 天正年間奉納(四)

年 代	関 連 事 項	参 考
永祿六年 (一五六三)	唐船、津屋崎沖に漂着。積荷造営費に充つ(置札)道増、氏貞に太刀一腰を贈る(宗像文書)	○七月廿八日、元就、氏貞家臣に書を送り宗麟と和せしむ(新撰宗像記考證)
永祿七年 (一五六四)	八月三日、道増、氏貞に太刀一腰を贈る(宗像文書)	○七月廿八日、元就、氏貞家臣に書を送り宗麟と和せしむ(新撰宗像記考證)
元正元年 (一五七二)	十一月十五日、道増、氏貞に書を送り、津屋崎沖で遭難の京衆船の返還を請う(宗像文書ほか)	○二年、聖護院道増没す
天正三年 (一五七五)	三月五日、氏貞、辺津宮第一宮神池の土で神殿下を盛土し、本殿造営に着工す(置札)	○七年十八日、室町幕府滅び
天正四年 (一五七六)	六月十一日、足利義昭、掃路のため氏貞の協力を要請し、毛利輝元も懇請す(宗像文書)	○二年、信長、家康連合軍勝利
天正五年 (一五七七)	二月二日、氏貞、辺津宮第一宮本殿造営着工す(第一宮置札)	○二年、信長、安土城を築城す
天正六年 (一五七八)	五月廿八日、辺津宮第一宮本殿造営竣工す(宗像第一宮置札ほか)	
天正八年 (一五八〇)	三月十三日、氏貞、宗麟に謝し、忠貞を誓う(宗像文書)	
天正十年 (一五八二)		
天正十七年 (一五八四)	八月廿五日、輝元、氏貞に上洛を要請す(宗像文書)	
天正十八年 (一五八五)	九月四日、義昭、柳沢元政を遣し、氏貞に幕府恢復の協力を求め、輝元、これを斡旋す(宗像文書)	
天正十四年 (一五八六)	三月四日、大宮司氏貞、萬ヶ嶽にて没す	○この年、羽柴秀吉、関白となり豊臣の姓を賜う
		○この年、秀吉、大政大臣となる

宗像マラソン大会

寒風をついて力走

福岡県内のマラソン大会として草創的存在で、今年の歴史と伝統を有し、新人の登龍門としても有名な宗像マラソン大会が、第三十回福岡県民体育大会を兼ねて、一月十七日(日)参拝者で賑う宗像大社を中心に開催された。



宗像大社
福岡県民体育大会
宗像マラソン大会 スタート

今年で三十一回目を迎えたこの大会も、今年も昨年の歴史と伝統を有し、新人の登龍門としても有名な宗像マラソン大会が、第三十回福岡県民体育大会を兼ねて、一月十七日(日)参拝者で賑う宗像大社を中心に開催された。

- 男子一般・学生
男子中学生
女子一般・学生
健康マラソン
の部(5km)が設けられ、老若男女約二百名が、順位やタイムを気にすることなく、走走を目標にいい汗をかいて、午前十時スタート
- 二位 松尾美津夫(福岡県警)

街づくり・人づくり・未来づくり

社団法人宗像青年会議所
理事長 井上重信



今日の様に社会変化の波が多様かつ急激な変化の時になった時、若者には従来の価値感にとらわれる事なく、斬新な発想と行動力が求められているのです。世界の中の日本を考えた時、戦後の「アメリカの世紀」にあつては「とるに足らない町」にしていくには何を

存在「何も言えない立場から「注目すべき存在」に驚異的に現れている。くににさわる存在「やりすぎの国」になつたのではないのか。日本の繁栄は国民の努力のたまものである。しかし、その裏には個人生活を犠牲にしてきたものであり、個人生活の真の豊かさを考え、行動していくことが21世紀の日本には必要なのでないかと思ひます。この命題は、我が宗像青年会議所はふるりです。このすばらしい自然環境をもつ宗像にも時代

玄海町成人の日 祝賀駅伝大会

今年で二十回を迎えた玄海町成人の日祝賀駅伝大会(主催・玄海町)が、一月十五日に開催されました。B&G海洋センター前スタート、玄海町本町駅前ゴールの町内一周10区間、全長23.2kmのコースに、16チーム(ブロンク)選出、16人が参加し、招待2分の参加があり、十二時三十分新成人が見守る中、和田町長の号砲で一斉にスタート、沿道

- 二位 勝見晃(福屋陸協) 15分19秒
三位 池田和之(筑紫女学) 15分52秒
四位 池田和之(筑紫女学) 16分00秒
五位 松田郁子(筑紫女学) 18分00秒
六位 春本佳代子(折尾高) 18分16秒
七位 中村和之(九産大) 18分54秒

の流は刻々と押しよせて来ている。各種団地建設をはじめ色々のプロジェクトが組み込まれる様になつてまいりました。今、マスコミを賑わしています。北部九州三百万都市構想、玄海リゾート・レクリエーションプロジェクト、玄海町構想など、宗像は世間の注目を集めています。しかしながら我が玄海町が今一番やらなければならないのは、地域と密着した、官民が一体となつていくことではないでしょうか。民間の単一プロジェクトによる開発でなく、都市構想にそつた開発をやっていくことが大切だと思ひます。しかし、この道程は大変な道程であり、また、大変な都市構想が出来れば、宗像の未来は太陽がさんさんと輝く理想郷となりうるのであります。

◎チーム成績表

チーム名	タイム	順位
1 玄海町	24.34	1
2 天礼	1.25.53	2
3 島多	1.26.10	3
4 池田	1.27.04	4
5 西町	1.29.00	5
6 中町	1.29.58	6
7 北町	1.31.34	7
8 玄海町	1.32.25	8
9 玄海町	1.32.27	9
10 玄海町	1.33.14	10
11 玄海町	1.34.46	11
12 玄海町	1.35.19	12
13 玄海町	1.35.38	13
14 玄海町	1.37.37	14
15 玄海町	1.37.58	15
16 玄海町	1.40.32	16

初春の成人式

筑前大島の若者達

県下のトップをきって、大島村の成人式が一月二日に行われました。式典は、中津宮に参集した新成人達(男子十一名・女性八名)は、チョッピリ緊張さみの様子でした。午前十一時より村内有志の方々の御臨席のもと、拝殿に於て成人祭として、村長、議長、教育長から祝辞を受け、新成人と式典を終えた若者達は、式典会場の大島村総合センターへと向いました。式典では、村長、議長、教育長から祝辞を受け、新成人と式典を終えた若者達は、式典会場の大島村総合センターへと向いました。

社務日誌抄

一月一日 歳日祭
一月二日 新年祭
一月三日 元始祭
一月四日 新出光石油神社
一月五日 西鉄運輸(株)久保田工務内機器部福岡支店・航空自衛隊戸田基地西部航空施設隊等参拝
一月六日 出光興産(株)会長大和氏外六名参拝
一月七日 西日本鉄道(株)社長大屋隆之助氏外二十名参拝
一月八日 出光興産(株)社長(株)多丸太田清之助氏参拝
一月九日 出光興産(株)社長(株)昭介氏外二十六名

今年で二十回を迎えた玄海町成人の日祝賀駅伝大会(主催・玄海町)が、一月十五日に開催されました。B&G海洋センター前スタート、玄海町本町駅前ゴールの町内一周10区間、全長23.2kmのコースに、16チーム(ブロンク)選出、16人が参加し、招待2分の参加があり、十二時三十分新成人が見守る中、和田町長の号砲で一斉にスタート、沿道

- 二位 酒見晃(福屋陸協) 30分29秒
三位 奥雅之(三善化成) 30分37秒
四位 池田和之(筑紫女学) 30分44秒
五位 手嶋善光(宗像走者) 31分12秒
六位 菊池しのぶ(津屋崎中) 18分18秒
七位 木村光恵(津屋崎中) 18分28秒

君が力強く述べました。式典終了後、婦人会の方々の心こもる料理で、立食パーティーが行われました。この頃になると、やや緊張もほぐれた様子で、お祝に駆けつけてくださった恩師とも話が弾んでいた様です。今後、社会人として、他人に恥じることなく、又大島村出身であることを誇り、ことを祈念いたします。(大島村教育委員会記)

一月八日 出光地熱開発(株)九州事務局長山本博氏外八名参拝
一月九日 宗像ロータリークラブ会長古野浩氏外三十名参拝
一月十日 福岡トヨペット(株)社長久保田主哉氏外十五名参拝
一月十一日 宗像海運(株)参拝
一月十二日 九州光連会二十五名参拝
一月十三日 献米奉告祭
一月十四日 出光興産(株)山梨支店・同僚上運送・海上運送安協力会二十名参拝
一月十五日 出光興産(株)新燃料部石炭物流課長高橋信一氏外参拝
一月十六日 出光興産(株)門司支店長西川千昭氏外六名参拝
一月十七日 出光興産(株)出光・デュポン(株)社長鈴木一也氏外七名参拝
一月十八日 海上保安庁長官山田隆英氏外四名参拝
一月十九日 成人祭
一月二十日 九州液化瓦斯(株)福岡基地常務取締役北口時生氏外二名参拝
一月二十一日 出光興産(株)山梨支店長山田隆英氏外二名参拝
一月二十二日 出光興産(株)出光・デュポン(株)支店長竹内健三氏・中国光連会長長前田鶴吉氏外八名参拝
一月二十三日 人類愛護会三島氏氏参拝
一月二十四日 宗像電報電話局長鶴尾氏新任挨拶・前局長若井英司氏新任挨拶の為参拝
一月二十五日 玄海町消防団第一分団歴代分団長会議
一月二十六日 日章興産(株)常務取締役橋野源一氏外一名参拝
一月二十七日 出光興産(株)出光興産(株)カネカ事務局長長野氏参拝
一月二十八日 出光興産(株)出光興産(株)カネカ事務局長長野氏参拝
一月二十九日 出光興産(株)出光興産(株)カネカ事務局長長野氏参拝
一月三十日 出光興産(株)出光興産(株)カネカ事務局長長野氏参拝
一月三十一日 八幡宗像会新年総会(於北九州市)宗像大社杜花会総会

